年間授業計画　新様式例

高等学校 令和５年度（１学年用） 教科　地理歴史　　科目 地理総合

教　科：　地理歴史　　科　目：　地理総合　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　1 学年　1 組～　5 組

教科担当者：（1～3組：佐伯　秀平　4～5組：　桐川　龍馬　　）

使用教科書：（ 帝国書院『高校生の地理総合』　　）

教科　地理歴史　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解しているとともに，調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。

【思考力、判断力、表現力等】地理や歴史に関わる事象の意味や意義，特色や相互の関連を，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，社会に見られる課題の解決に向けて構想したり，考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりしている。

【学びに向かう力、人間性等】地理や歴史に関わる諸事象について，国家及び社会の形成者として，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとしている。

科目　地理総合　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取り組みなどを理解しているとともに、地図やGISなどを用いて諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技術を身につけている。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を位置や分布、場所、人間と自然環境との相互関係、相互依存作用などに着目しつつ概念などを活用し、多角的、多面的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想、考察したことを効果的に説明したり、議論したりする力を養う。	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的に考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについて自覚などを深め

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	球面上の世界と地図 国家の結びつきとグローバル化する社会 【知識及び技能】 地図の読図などを基に，地図や地理情報システム（GIS）の役割や有用性などについて理解している。地図やGISを用いて，情報を収集，読み取り，まとめる技能を身に付けること。 【思考力、判断力、表現力等】 地図やGISについて，目的や用途，内容，適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し，表現すること。 【学びに向かう力、人間性等】 地図やGISを活用し，社会の課題を主体的に追究，解決しようとしている。	・指導事項 地図を利用して、現代世界を多面的多角的にとらえる。 「地球上の位置」 「世界の時差」 「国家の領域と国境」 「日本の領域と様々な領土問題」 「国家をこえた結びつき」 ・教材　教科書,地図帳,ワーク ・一人１台端末を活用し、適宜地理院地図やGoogleEarthなどを扱う。	【知識・技能】 地図の読図などを基に，地図や地理情報システム（GIS）の役割や有用性などについて理解している。地図やGISを用いて，情報を収集，読み取り，まとめる技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 地図やGISについて，目的や用途，内容，適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し，表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 地図やGISを活用し，社会の課題を主体的に追究，解決しようとしている。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
	生活・文化の多様性と国際理解 【知識及び技能】 世界には多様な文化が存在すること,近年それが均一化する傾向にあることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 地形や気候が地域によってどのように異なるか,それが人々の生活にどのような影響を与えてきたかを考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 技術の発展やグローバル化の進展に伴い,人々の生活や産業及びその立地を捉えし,将来的な変化への関心を高める。	・指導事項 「世界の生活・文化を写真でつかもう」 「人々の生活に彩りを与える気候」 「世界の気候区」 「世界のさまざまな言語」 ・教材　教科書,地図帳,ワーク ・一人１台端末の活用、地理院地図・Google Earth等を適宜利用	【知識・技能】 世界の多様な文化に関して、学習した内容を計画を立てて実施し、それについて評価することができる。 【思考・判断・表現】 地形や気候の違いに着眼し、その地域での生活移管して、適切に判断し、自分の言葉でまとめ表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 他人の話をよく聞いたうえで、自分の意見を伝えることができる。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
2学期	持続可能な社会を目指して 【知識及び技能】 地球環境問題の背景と影響を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 様々な資源エネルギーの特徴を理解し,生産や消費の在り方を考える。 【学びに向かう力、人間性等】 地球的規模で取り組むべき課題内容や特徴を確認し,解決に向けた取組みを考える。	・指導事項 「持続可能な開発目標(SDGs)」 「地球的課題の地理的な側面」 ・教材　教科書,地図帳,ワーク ・一人１台端末の活用、地理院地図,Google Earth等を適宜利用	【知識・技能】 地球環境問題や、SDGSに関して、得た知識を基に異なる意見を理解しつつ批判することができる。 【思考・判断・表現】 地球環境問題や、SDGSに関して、他人の意見に共感したうえで、自分の考えを整理・表現し、意思の疎通を行うことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 地球環境問題や、SDGSに関して、に関して、課題・問題点を見つけ、問題点を解決しようとしているか	○	○	○	13
	すべての人々の尊厳と平等が守られた社会に向けて 【知識及び技能】 持続可能な開発目標(SDGs)を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 人口問題及び住居・都市問題に関して発展途上国,先進国とに分けて問題が発生する背景や特徴を理解し,解決策を考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 民族問題・難民問題の現状と背景を理解,改善に向けてどのような取組が可能であ	・指導事項 「貧困問題」 「人口問題」 「食糧問題」 「持続可能な水の利用」 「健康・福祉問題」 「教育・ジェンダー問題」 ・教材　教科書,地図帳,ワーク ・一人１台端末の活用、地理院地図,Google Earth等を適宜利用		○	○	○	15
3学期	自然環境と防災 【知識及び技能】 日本列島の自然環境の特徴について世界的な視点から捉えると共に地形と気候の両面から理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 日本列島における様々な自然環境の発生要因について自然環境や社会環境との関わりから考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 自然災害が人々の生活や社会全体へもたらす影響をふまえ,地域性をふまえた防災・減災対策と災害に強い持続可能な地域づくりのあり方について考察する。	・指導事項 「地球規模で見る地形の姿と自然災害」 「人々の暮らしを取りまく自然環境」 ・教材 教科書,地図帳,ワーク ・一人１台端末の活用　地理院地図,Google Earth等を適宜利用	【【知識・技能】 日本列島の自然環境や自然災害、身近な地域の調査等に関して、課題を把握しているか 【思考・判断・表現】 日本列島の自然環境や自然災害、身近な地域の調査等に関して、発見した課題に対し、仲間ととに課題解決に向け協力しているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 能動的に学ぼうとしているか	○	○	○	13
	生活圏の調査と地域の展望 【知識及び技能】 地域調査手順や具体的な手法を理解し,その技能を用いて地位調査を行う。 【思考力、判断力、表現力等】 身近な地域の変遷を新旧地形図の読み取りなどから判断する。 【学びに向かう力、人間性等】 身近な地域の課題に対して異なるスケールを織り交ぜて考察し調査テーマを設定する。	・指導事項 「地域調査の方法」 ・教材　教科書,地図帳,ワーク ・一人１台端末の活用　地理院地図,Google Earth等を適宜利用		○	○	○	12
						合計	70